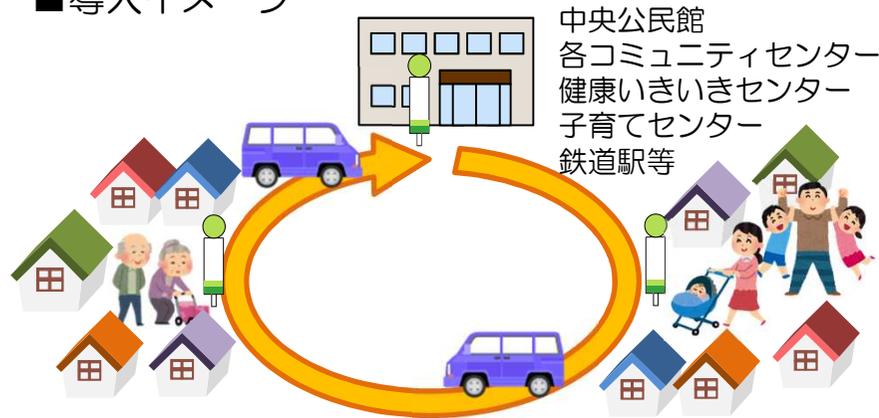


コミセン便の導入検討について

1. コミセン便の導入検討の背景

- 「施策⑤子育て世代・高齢者等の外出支援サービスの充実」において、コミュニティセンターや公共施設等を巡回する交通サービスの導入について検討。⇒実証運行に向け、今年度検討を実施。
- 実証運行を通じ、利用状況・需要、収支を検証、検証結果に応じ、本格運行へ移行（あるいは実証運行で終了）。

■導入イメージ



【対象者】

- 中央公民館や各コミュニティセンター、健康いきいきセンター、子育てセンター、鉄道駅等利用者

【導入効果】

- アクセス性が向上し、各施設の利用が容易になることで、住民の外出機会の増進や満足度の向上、施設の利用向上等が見込まれる。

【課題】

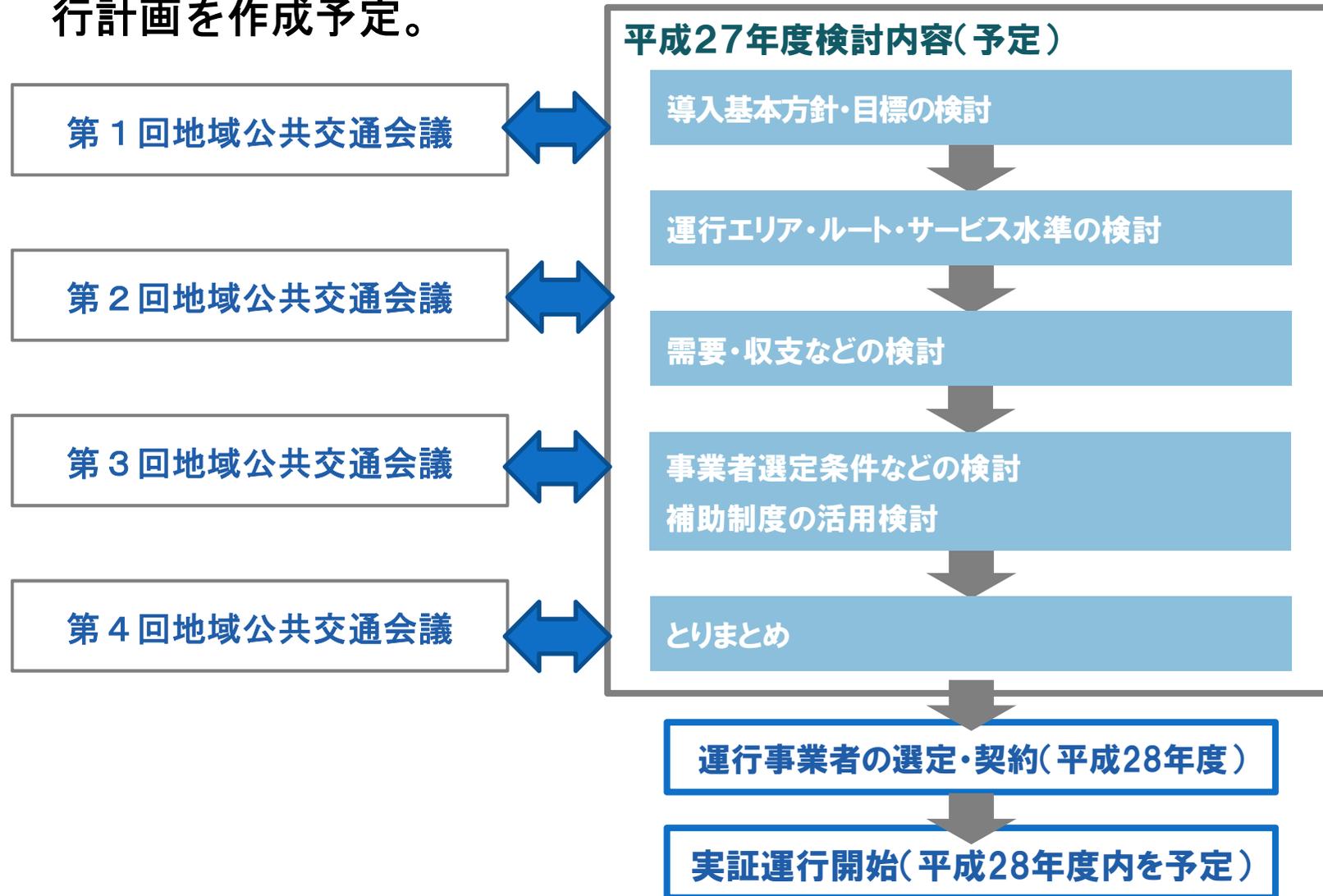
- 導入する交通手段の確保（路線バスによる導入、コミュニティバスによる導入、その他）

● アンケートの自由意見に見る子育て世代・高齢者等の外出支援サービスに対するニーズ（カッコ内は年代）

- 播磨町は元気なお年寄りが多いと思います（いきいきセンターの利用者で年配の方多いと見受けます）。せっかく健康に配慮した施設が多いのにそれらの施設を結ぶ路線があれば利用しやすいのになと思います。同様に子育て支援センターとそれらの施設を結べば子育て世代のお母さんたちも外出しやすくなると思います。自転車でも行けないことはないですが雨の日はちょっとね・・・となってしまうので。（25～34歳）
- せっかく町内に2本の鉄道が通っているので、これら2駅と町内各所を結ぶ公共交通網（コミバス、乗合タクシーなど）の整備が町内の目指す方向ではないかと思います。（55～64歳）
- バスの路線が家の近くにないので路線を増やしてほしい（明幹沿い）。播磨町内の施設をまわるループバスがあれば利用しやすいかも（大中遺跡、整備中のJR土山駅商業施設、プール跡地、南・北支援センター、図書館（役場）など）。（25～34歳）

2. 検討の流れ

- 平成28年度からの実証運行開始を目指し、今年度導入計画及び運行計画を作成予定。



3. 導入目的（案）

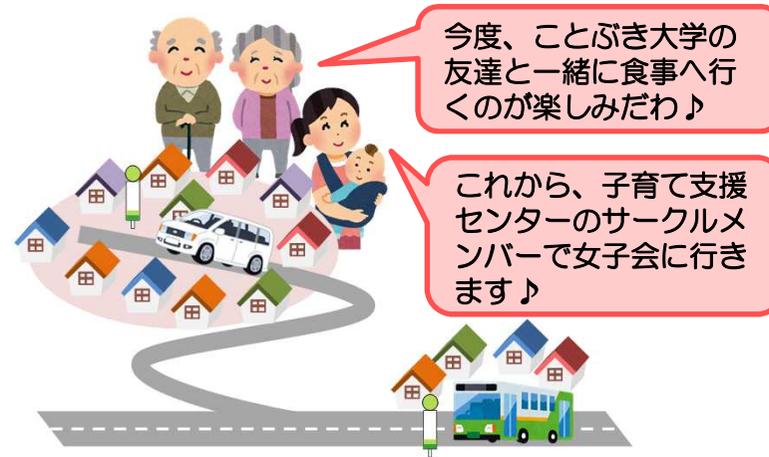
- 鉄道駅と町内各地を結ぶ路線バスが運行しているが、道路幅員が狭小な地域では乗り入れが困難であり、路線バス運行地域が限定されている。
- 既存路線バスが乗り入れ困難な地域とコミュニティセンター、子育て支援センターや鉄道駅等を結ぶ「コミセン便」を導入することで、町内各地域からの公共交通による移動手段を確保し、町民の外出機会の拡大を図る。

■コミセン便の導入による外出機会の拡大イメージ

○導入前



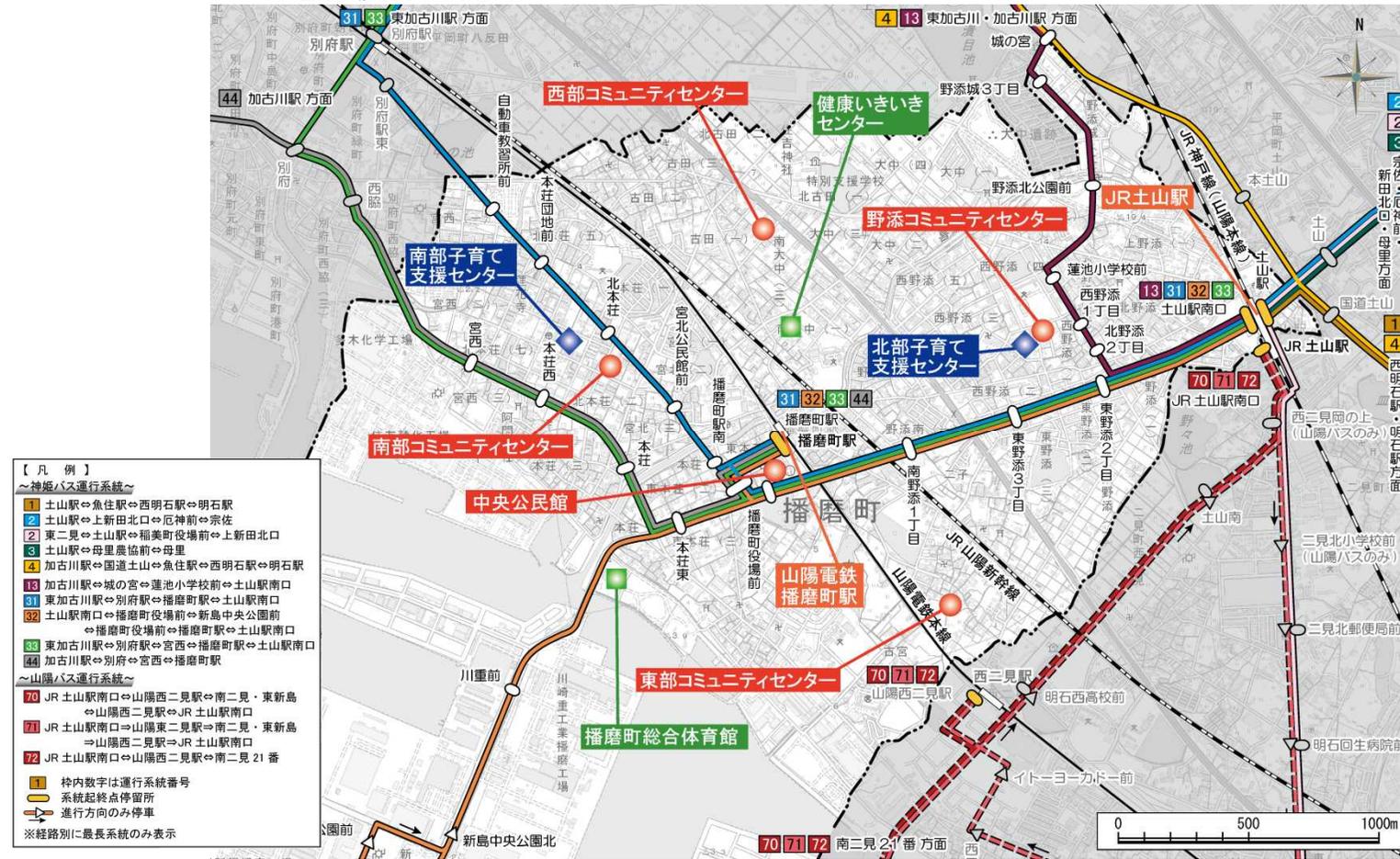
○導入後



4. コミセン便の想定ルート

- コミセン便は、中央公民館、各コミュニティセンター、子育て支援センター、健康いきいきセンター、総合体育館、鉄道駅を結ぶルートを想定。

■ コミセン便の目的地



5. 想定経由施設の概要

● 中央公民館

- ことぶき大学(高齢者大学)・各種講座・教室、サークル活動などの生涯学習の活動の場所として、また、各種展示会、発表会などの芸術・文化振興の場を提供する施設



● コミュニティセンター

- 地域のコミュニティ活動の拠点として、また各種講座、教室などの生涯学習の活動場所を提供する施設
- 町内に東部、西部、南部、野添の4箇所を整備。

■ 中央公民館・コミュニティセンターの利用状況(平成26年度)

	年間利用者
中央公民館	111,919 人
東部コミュニティセンター	11,423 人
野添コミュニティセンター	50,520 人
西部コミュニティセンター	19,725 人
南部コミュニティセンター	29,629 人
合計	223,216 人

出典：NPO法人 まちづくりサポートはりまHP(播磨町中央公民館指定管理者)、播磨町資料

5. 想定経由施設の概要

● 健康いきいきセンター

- 住民福祉に寄与するために、積極的な健康づくりを支援する施設
- トレーニングルーム(ジム)、プール、お風呂等の施設を整備
- 年間利用者：206,711人（平成26年度）



● 子育て支援センター

- 地域における子育て支援を積極的に推進するために設置された施設
- 町内に北部(ニコニコの森チャイルドセンター)、南部(わくわくの森チャイルドセンター)の2箇所を整備。
- 子ども同士が自由に遊べ、それを見守る親同士も親しく話したりゆっくり過ごすことができる「おやこさろん」を設置、子育てに関する講座やサークル活動等も開催。
- 年間利用者（平成26年度）
 - 北部子育て支援センター：14,888人
 - 南部子育て支援センター：12,057人

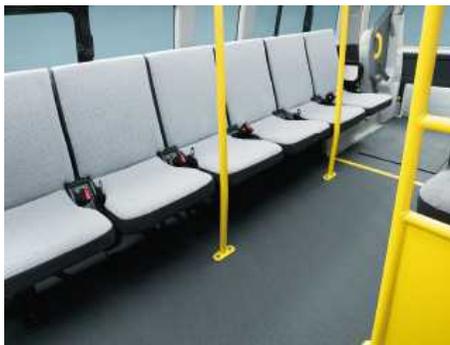


出典：株式会社 linkworksHP（播磨町健康いきいきセンター指定管理者）、播磨町HP

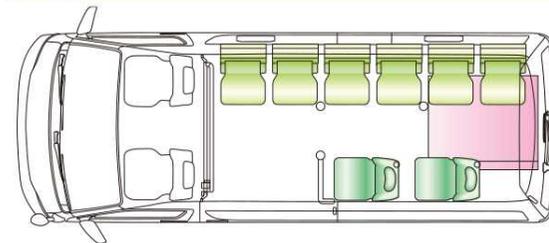
6. 運行車両イメージ

- コミセン便は、目的施設と道路幅員が狭小で路線バスが乗り入れ困難な地域を結ぶものとするため、10人乗りの車両を想定。
- 移動制約者の外出機会の拡大を図るため、車いす利用者も同乗できる車両を想定。

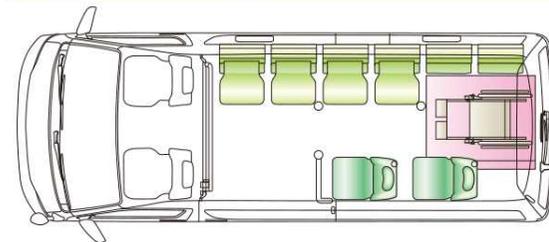
■ コミセン便の運行車両イメージ



人 × 10名



車いす × 1名 + 人 × 8名



車内レイアウトの色分けは次のとおりです。

- | | | |
|---------------|------------|--------|
| 車いす | スイングアームリフト | 横向きシート |
| 1人掛けクライニングシート | | |

出典：トヨタ自動車株式会社HP